

“SDGs（持続可能な開発目標）” ってなんだろう？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(SDGs・エスディーゼズ)」とは、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人々にとってより良い世界をつくるために設定された、「世界共通の17の目標」です。SDGs が策定される以前から、世界は社会、環境、経済の問題にそれぞれ取り組んでいました。しかし、SDGsは、それらの問題に対する目標を一つにまとめたところが特徴です。

2015年9月に、「国連持続可能な開発に関するサミット」が、ニューヨークで開催され、ここで、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ(2030アジェンダ)」が、世界各国の政府によって採択されました。これらの17の目標を、2030年までの15年間で達成することを目指して、世界は2016年から取り組みを始めています。

参考：SDGsの紹介サイト ▶▶

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン / イマココラボ



SDGs1 貧困をなくそう



世界中の、あらゆる形態の貧困を終わらせることを目指した目標です。世界には、「絶対的貧困」という、1日1.9米ドル(約210円)以下で暮らす極度の貧困の形もあれば、所属する社会の一般的な水準より低い状況で暮らさなければいけない「相対的貧困」という貧困の形があります。日本では、7人に1人の子どもが「相対的貧困」の状況に置かれています。

貧困とは経済的なことだけではなく、教育や仕事、食料、安全な水、病院、住居などの必要な物やサービスがない、または受けられないこと、さらに自分の意見を自由に言えないなど、自分のもっている本当の力を生かせないことも含まれます。

- 絶対的貧困・相対的貧困
- 1日1.25ドル(182円)未満で生活する人々
- 経済的な格差・さまざまな機会の格差
- 開発途上国への開発協力
- 教育・仕事・食料・安全な水・病院・住居
- 貧困者の保護の仕組みを考える

SDGs2 飢餓をゼロに



子どもからお年寄りまですべての人たちが、栄養のある十分な食事を取り、持続可能な農業をすすめることで世界中の飢餓を終わらせることを目指す目標です。

今も世界の多くの子どもたちは、栄養不良が原因で命を落としています。特に、途上国など、自分たちに身近な環境や資源を用いて毎日の食事や生計を得ている人々にとって、環境や生物多様性を守りながら農業の生産量を増やすことは、飢餓や栄養不足をなくするためにはとても大切です。

そのために、種や作物、家畜の多様性や環境、資源を守る持続可能な農業を進めていくことが重要です。

- 食料の安定確保・栄養状態の改善
- 気象現象・干ばつ・洪水・災害への対策
- 持続可能な農業・牧畜・漁業
- 食料の市場・貿易・価格のバランス
- 栽培植物・家畜動物の多様性をまもる
- 新しい食料の開発（昆虫食・培養?）

SDGs3 すべての人に健康と福祉を



すべての人が健康で、安心して満身に暮らすためには、病気を未然に予防したり、適切な治療を受けたりすることが必要です。

また、妊娠や出産の際に誰もが保健サービスを受けられること、幼い子どもが本来予防できるはずの病気で命を落とすことがないようにすること、そして誰もが薬やワクチンを手にできるようにすることが必要です。

目標3ではこれらを達成するとともに、途上国で深刻な交通事故による死亡者・負傷者の数を半分に減らすこと、化学物質や大気・水質・土壌の汚染を減らしていくことも目指しています。

- 病気の予防・早期発見・治療をすすめる
- 医療・保健サービス・医薬品・ワクチン
- 伝染病（エイズ・結核・マラリア・熱帯病など）
- たばこ・アルコール・薬物乱用の対策
- 妊産婦・新生児の死亡率を下げる
- 水質・土壌・大気の汚染をなくす

SDGs4 質の高い教育を みんなに



住んでいる場所や家庭の経済状況に関わらず、誰もが無料で質の高い基礎教育や職業訓練を平等に受け、すべての世代の人が生涯にわたりさまざまな機会に学習できるようにするための目標です。

若者や大人がきちんと読み書き、計算ができるようにしたり、教育を受けるため、安全で使いやすい学校設備を整えたり、資格のある先生の数を増やしたりすることもこの目標に含まれます。

目標4の達成のためには、紛争や災害の状況下でも、子どもたちが教育を受けられるよう、制度を整えたり、そのための資金を確保したりすることも非常に重要です。

- 基礎教育・職業訓練への平等なアクセス
- 適切な学校(教育施設)を設置する
- 読み書き能力・基本的な計算能力を学ぶ
- 情報通信技術(ICT)・技術・工学・科学
- ジェンダー・障害者・先住民の教育格差
- 文化へのアクセスと多様性をまもる

SDGs5 ジェンダー平等を 実現しよう



すべての人が性を理由に差別されず、すべての女性や女の子に対する性的な人身取引を含むあらゆる種類の差別や暴力、搾取を、世界のすべての場所でなくすことを目指します。

また、無報酬の育児・介護や家事労働を認識し、評価することや、女性や女の子が政治や経済活動の意思決定に平等に参加できることもこの目標に含まれます。

さらに妊娠と出産に関する女性の権利を守り、土地・財産などに関する女性の権利を確保するために法律やルールをつくりかえることも、目標として掲げています。

女性の国会議員の比率が少なく、ジェンダー指数の低い日本も目標5の達成に向けて改善すべきことは多くあります。

- 女性・女兒に対する差別をなくす
- 育児・介護・家事労働への理解と評価
- 人身売買・性的搾取などの暴力をなくす
- 政治・経済・公共分野への平等な参加
- 妊娠と出産に関する女性の権利をまもる
- 女性の経済的資源(土地・財産など)

SDGs6 安全な水とトイレを世界中に



すべての人が安全で安価な水を使えるようにすること、適切な方法による下水処理やごみ処理などの衛生設備が整った環境で暮らせることを目指すための目標です。

野外での排泄をなくすこと、下水や衛生設備について女性や女の子、最も弱い立場にある人々のニーズに特に注意を払うこともこの目標に含まれます。

また排水処理を通して水質を管理することや、今後深刻化するといわれている水不足に対し、水の再利用や利用効率の改善、コミュニティ参加による水資源管理や水に関する生態系の保護も目指しています。

- 安全で安価な水を使えるようにする
- トイレ・下水・ごみ処理などの衛生設備
- 水不足への対処をすすめる
- 水の再利用をすすめ、ムダをなくす
- 山地・森林・湿地・河川・帯水層・湖沼など、水資源・水の循環・生態系をまもる

SDGs7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



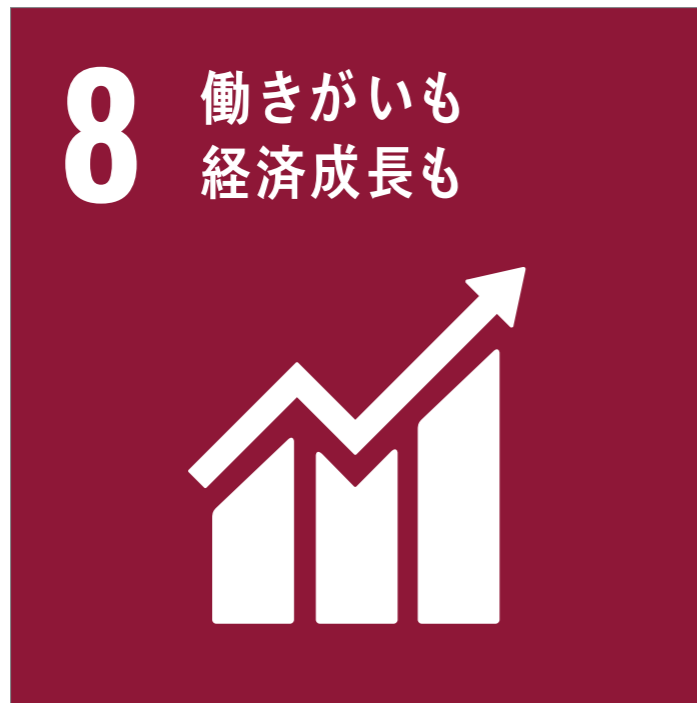
すべての人が、電気やガスなどのより新しいエネルギーを、安い価格で安定して使えるようにすることを目指す目標です。

電気やガスなどのエネルギーを持続して供給するためには、石油や石炭などのエネルギー源のみに頼らず、太陽の光や風、川を流れる水の力、海の潮の力など自然の力でつくる再生可能エネルギーの使用を大幅に増やすことが重要で、これも目標の一つに含まれます。

さらに、より少なく、無駄を省きながらエネルギーを使用できるよう、2030年までに世界全体でエネルギー効率を倍増させることも掲げています。

- 電気やガスなど、近代的で安価なエネルギーが使えるようにする
- 開発途上国(小島嶼・内陸含む)のインフラ
- 再生可能エネルギーの割合を増やす
- エネルギーの効率化・ムダを減らす
- クリーンエネルギーの研究・開発

SDGs8 働きがいも 経済成長も



すべての人が働きがいのある人間らしい仕事をし、自然資源である環境を守りながら、持続可能な経済成長を進めることを目指す目標です。

この目標には、2030年までに、若者や障害者を含む、すべての女性と男性が、人間らしい働きがいのある仕事に就くこと、また子どもの心身に害を及ぼす労働には厳しい姿勢で臨むことが含まれています。

さらに強制労働や人身取引、子ども兵士、売春・ポルノなどの最悪の形態の児童労働を確実になくすための施策を早急に行い、2025年までにあらゆる形態の児童労働をなくすことも掲げています。

- 働きがいのある人間らしい仕事
- 若者・障害者・ジェンダーをとわない完全かつ生産的な雇用をすすめる
- 持続可能な経済成長を進める
- 雇用創出・起業・イノベーションを支援する
- 児童の強制労働・兵士・売春などの撤廃

SDGs9 産業と技術革新の 基盤をつくろう



経済成長と人々の健康で安全な暮らしの両方を実現するため、社会の基盤となるインフラを持続可能で、災害に強く、環境破壊をもたらさないものにするための目標です。

インフラには水道や鉄道、ガス・電気、インターネットなどの設備やサービスが含まれますが、利用の際の価格を安くし、すべての人が平等に使用できること目指します。

また、経済発展を進める際、製造業に従事する人の数を増やしたり、特に途上国において小規模の製造業への金融サービスの仕組みを増やすこと、企業が環境に配慮した技術や製造の工程などを取り入れることなども目指しています。

- 水道・鉄道・ガス・電気・インターネット、持続可能で、災害に強いインフラの開発
- 資源利用効率の向上とクリーン技術
- 包摂的で持続可能な産業化をすすめる
- 産業の多様化・商品への付加価値創造
- IT・インターネットへの安価なアクセス

SDGs10 人や国の 不平等をなくそう



国と国の間、または国の中での不平等を減らすための目標です。各国の中で所得が水準より低い人々の収入をより早く増やすことや、年齢、性別、障害、人種などによる社会・経済・政治的な機会の不平等をなくし、特定のグループを差別するような法律や慣習をなくすことを目指しています。

また、先進国と途上国間の不平等をなくすため、国際的な金融の取引に対する規制や制度を強化することや、貿易において途上国に特別な配慮を行うこと、世界銀行などの国際金融機関の意思決定の際に、途上国の参加や発言力を拡大することなども、この目標には含まれています。

- 年齢・性別・障害・人種・宗教・出自・経済的地位などによる、社会・経済・政治的な機会の不平等をなくす
- 先進国と途上国間の不平等をなくす
- 貿易への配慮・国際金融への参加と発言
- 安全で規則に沿った移民政策

SDGs11 住み続けられる まちづくりを



すべての人が水・電気などの必要なサービスを得られる安全な家に住み、スラムの状況を改善すること、また特に子どもや女性、障害者、高齢者など配慮が必要な人々にとって、安全で価格が安く、かつ環境に配慮した交通機関や公園などの公共スペースをつくることを目指す目標です。

さらに住民のまちづくりへの参加を確保すること、災害に強いまちや地域をつくること、大気汚染を防ぎ廃棄物を管理して都市の環境を改善すること、世界文化遺産・自然遺産を守ることもこの目標に含まれます。

- 必要なサービスがある安全な家にすむ
- スラム・荒廃地区の状況を改善する
- 公共交通機関・公園などを提供する
- 災害に強いまちと地域づくり
- 住民のまちづくりへの参加
- 文化遺産・自然遺産の保護と保全をする

SDGs 12 つくる責任 つかう責任



これまでの生産と消費の形態への反省から、すべての国が、一人当たりの食品廃棄量を全体で半分に減らすこと、化学物質や廃棄物を大気・水・土壌に流れ出すことを食い止めること、3R（ゴミを減らし、再利用し、資源化すること）を促進することを目指す目標です。

持続可能な消費と生産を行うためには、大企業や多国籍企業が持続可能な方法で事業を実施し情報を公開すること、国や自治体が環境に優しい物品やサービスを使用すること、そして人々が自然と調和した暮らしに関する知識を得られるようにすることなども必要で、それらも目標として掲げています。

- 持続可能な消費と生産
- リサイクル・リユース
- 食品廃棄量(フードロス)を半分にする
- 環境に配慮した製品やサービスを増やす
- 環境負荷の低いゴミ・廃棄物の処理方法
- 環境と調和したライフスタイル

SDGs 13 気候変動に 具体的な対策を



気候変動がもたらす危険や自然災害に対する備えを強化し、災害に強く、災害から回復する力を高めることを目指す目標です。

気候変動やその影響を止めるためには、すべての国が今すぐ行動を起こす必要があり、気候変動のための対策を国の政策や戦略、計画に組み込むことが必要です。

気候変動の原因となる温室効果ガス排出の減少、気候変動に伴う環境変化への適応やその影響の軽減について、人々が知識を得て能力を高め、きちんと制度を整えることが目標となっており、教育の場においてもこれらについて指導することが求められます。

- 気候変動や自然災害への備えの強化
- 気候変動対策の国際的な戦略・計画
- 災害に強く、回復力の高い社会づくり
- 気候変動に関する教育・啓発・人的能力・
- 温室効果ガスの排出量を減らす
- 制度づくりをすすめる

SDGs 14 海の豊かさを 守ろう



海の汚染の主な原因である陸上の人間の活動を改善し、海洋汚染を防ぎ、海の生態系に悪影響を与えないよう、健全で生産的で持続可能な海洋、および生態系の保護と回復を目指すための目標です。

過剰または違法な漁業、海の環境を破壊するような漁業の方法を撤廃して取り締まり、科学的な情報に基づいた保全を実施することもこの目標に含まれます。

人々の暮らしに欠かせない魚ですが、途上国や島しょ国の人々が漁業規制などによって困窮しないよう、海からの資源を持続可能な方法で利用し、そこから収入を得るために支援することも明記されています。

- 海洋と海洋資源の持続可能な開発
- 海洋ごみ・汚染水・富栄養化など
陸上活動による海洋汚染を防止する
- 過剰・違法な漁業の規制によって
水産資源をまもる
- 海洋・沿岸の生態系を保護する

SDGs 15 陸の豊かさも 守ろう



森林、湿地、山地、乾燥地や、内陸にある淡水など、陸の生態系を守り、持続可能な方法で利用することや、森林をきちんと管理し、砂漠化に対処し、森林破壊や土地の劣化を防ぎ、再生させることを目指す目標です。

また生物多様性が失われることを防ぐため、絶滅危惧種を一刻も早く保護したり、密漁や動植物の違法な取引をなくすための措置を講じたりすることもこの目標に含まれます。

さらに、天然資源に関わる計画を国や地域レベルで策定し、生態系の保護と地域の人々の持続可能な生計が両立するようサポートすることも明記されています。

- 森林・湿地・山地・乾燥地・淡水など、
陸の生態系の管理と保全をすすめる
- 森林減少を阻止し、森林を回復する
- 砂漠化・干ばつ・洪水への対策を考える
- 生物多様性・絶滅危惧種・外来種
● 動植物の密猟・違法取引をなくす

SDGs 16 平和と公正を すべての人に



平和な社会づくりのため、世界中から、虐待、搾取、人身売買など、子どもに対する暴力を含む、あらゆる暴力と暴力による死を大幅に減らすこと、政府や国の制度を公正にし、すべての人が平等に司法を利用することを目指す目標です。

違法な資金の取引や武器の取引、汚職を大幅に減らすこと、子どもや若者を含む人々の意見を意思決定に反映し、人々に対して情報を公開して説明ができる政府や制度にすることもこの目標に含まれます。

また、グローバルなレベルでの決定に際し、途上国の参加を拡大、強化していくことも目指します。

- あらゆる暴力をなくす
- 子どもに対する虐待・搾取・人身売買
- 違法な資金・武器取引・組織犯罪の根絶
- 子どもや若者を含む全ての人々が意思決定に参加できる
- 国際的な意思決定への途上国の参加

SDGs 17 パートナーシップで 目標を達成しよう



SDGsの17番目の目標は、これまでの16の目標を達成するために、「具体的な実施手段を強化し、持続可能な開発に向けて世界の国々が協力すること」に関連するとても重要な目標です。

すべての国が目標達成に向けて国の予算を確保し、また先進国は途上国に必要な資金や技術を支援し、国同士の格差を生まない貿易ルールを実施することが掲げられています。

さまざまなステークホルダー（関係者）が連携することや、目標達成に向けてどのくらい進捗しているかを確認するため、データや統計をきちんと集めることもこの目標に含まれています。

- SDGsの目標を達成するための実施手段と協力体制の構築をすすめる
- 目標達成に必要な資金・技術の支援
- 全世界的な技術促進・技術バンク
- 政策協調・パートナーシップをすすめる
- 統計データ・モニタリングに関する支援